



平成 18 年 10 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ
代表者名 代表取締役社長 廣谷 彰彦
(J A S D A Q ・ コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役 長尾 千歳
統括管理本部長
TEL 03 - 6311 - 6641

平成 18 年 9 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 8 月 28 日付当社「『株式会社 ACK グループ』設立のお知らせ」において発表いたしました平成 18 年 9 月期（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

- 1 . 平成 18 年 9 月期連結業績予想の修正（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）
（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 8 月 28 日発表)	17,400	680	350
今回修正予想(B)	17,167	530	114
増減額(B-A)	232	150	235
増減率(%)	1.3	22.0	67.3
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	17,012	568	228

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 23円09銭

注) 連結業績については、連結グループの期首である平成 17 年 10 月 1 日からの業績を記載しております。なお、(株)ACKグループ単体の業績予想の修正はございません。

2 . 修正の理由

受注高については、国土交通省を中心に技術力による選定を基本とするプロポーザル方式の発注が増加しているなか標準型プロポーザルの特定率が34%と上昇した結果、175億28百万円（前連結会計年度比5.4%増）と大きく伸ばすことができました。このような受注高の増加を背景に売上高は前回予想を上回る状況でありましたが、当連結会計年度に売上予定であった業務の一部が、工期延長により売上時期が翌連結会計年度に繰り越され、売上高は171億67百万円と予想を1.3%下回る見込みであります。その結果、翌連結会計年度に繰り越す受注高が100億56百万円と前連結会計年度と比べ3億61百万円増加しており、翌連結会計年度の売上高増加が期待できます。

そのようななか、連結子会社の㈱ワールドが新規事業関係の投資費用及び大型赤字業務の発生などにより1億32百万円の経常損失を計上したことに加え、売上予定業務の工期延長、持株会社設立・M & A等グループ再編に係る投資費用を販売費及び一般管理費に計上したことなどにより経常利益は前回予想を下回ることとなりました。さらに、監査法人との協議を重ねた結果、過年度のソフトウェア利用に係る支払見込金87百万円を特別損失に計上したほか、㈱ワールドの繰延税金資産を全額取り崩すこととしたため、当期純利益は1億14百万円と大幅な減益となる見込みであります。

以 上